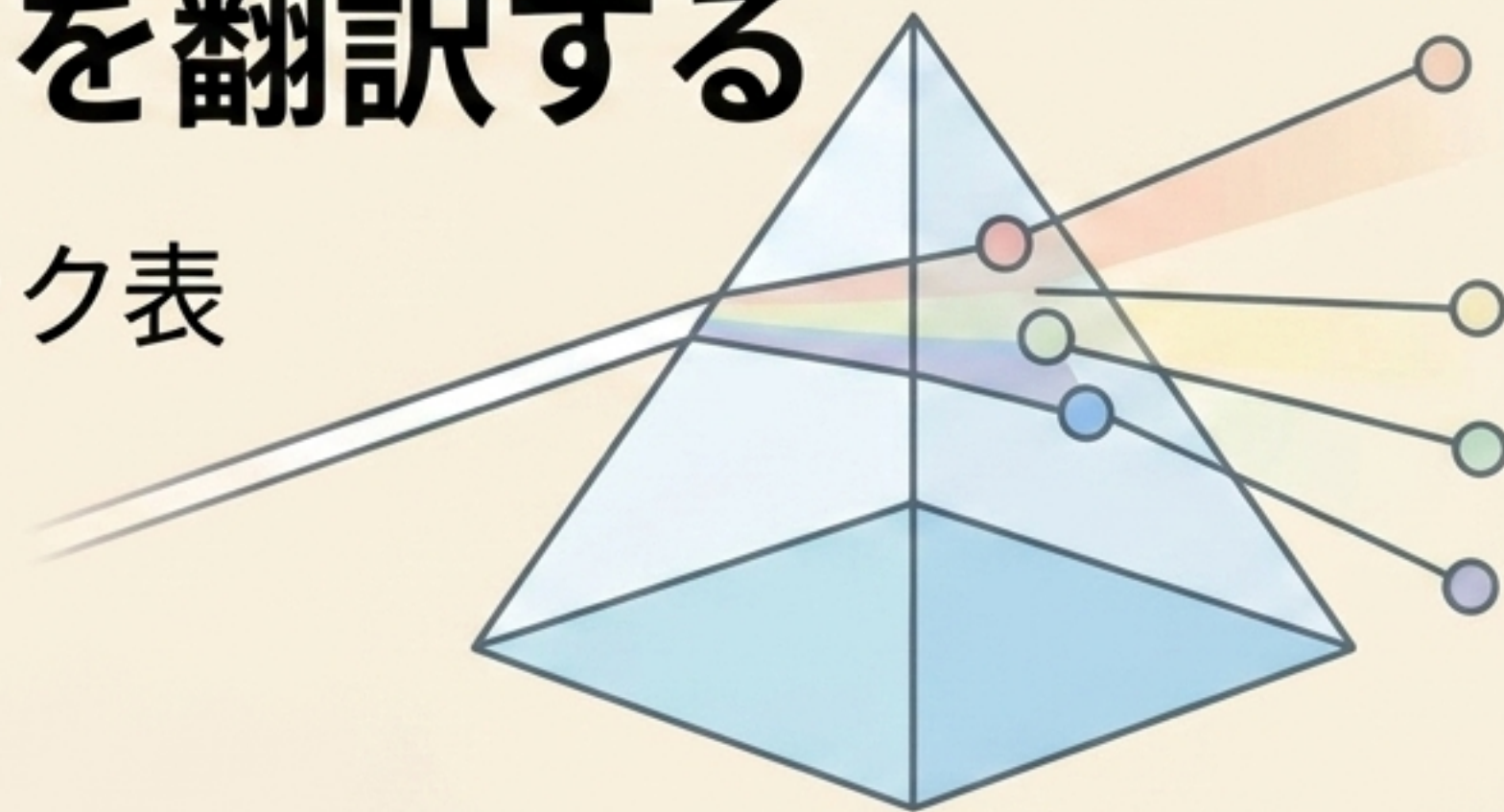


表面的な「困りごと」から 見えない「発達課題」を翻訳する

感覚統合に基づく発達課題チェック表
の活用プロセス

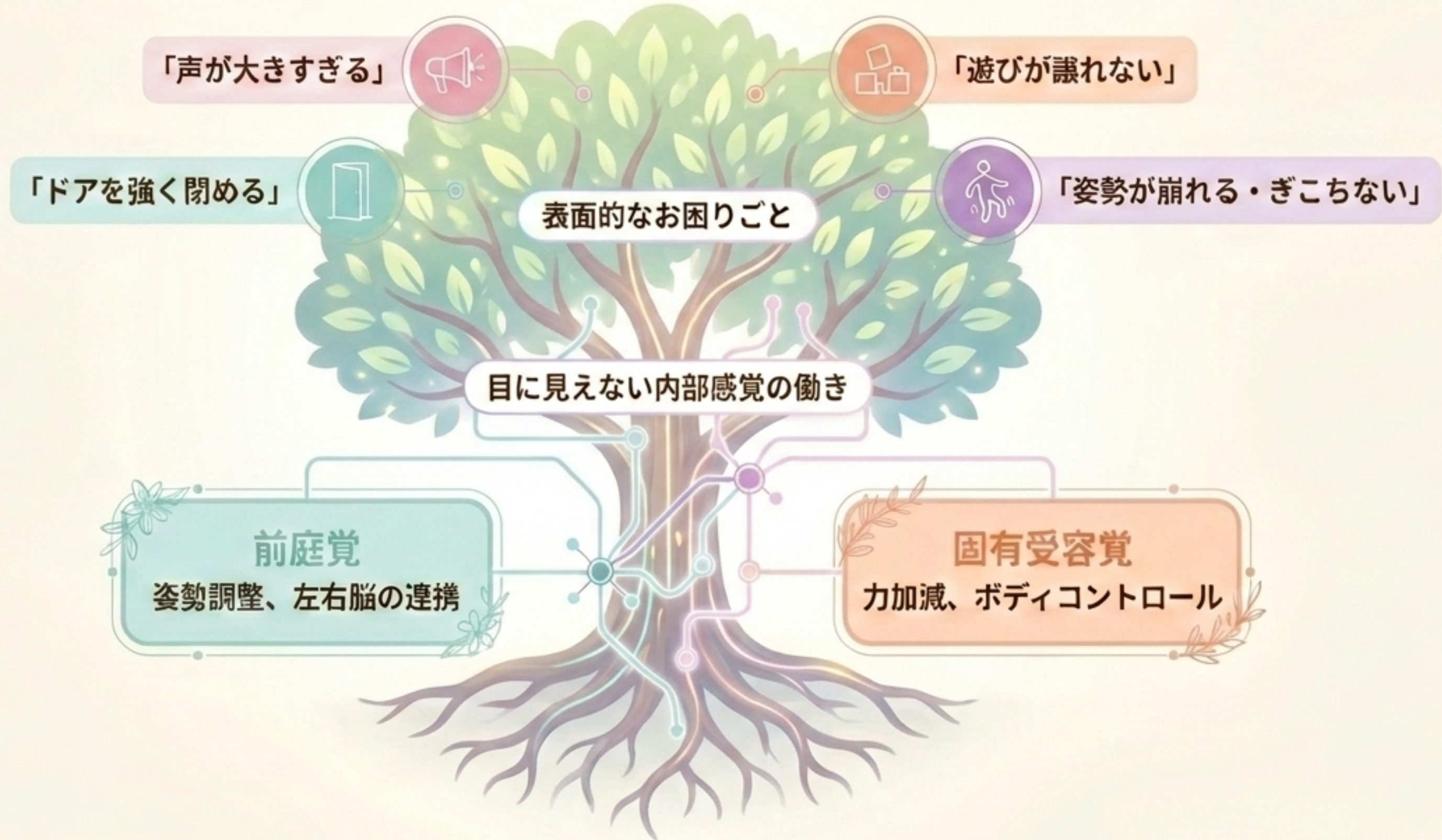
支援員・保護者・教育機関向け共有ガイド



チェック表の真の目的は、支援ネットワーク全体の「共通言語」を作ること



私たちが見ているのは、感覚統合の「氷山の一角」に過ぎない



課題から遊びへ導く4ステップの「翻訳プロセス」



「何の課題があるか」を導き出せなければ、この表は機能しない。

診断マトリクス①：前庭覚（バランスと連携）の課題

観察される行動	見立てられる内的課題	必要な感覚刺激
遊びが譲れない・ こだわりが強い	左脳と右脳をうまく 繋ぐ機能の未発達	回る 走る 登る・降りる
肘をつく・ 膝を立てて座る	前庭覚の姿勢調整 の困難	

診断マトリクス②：固有受容覚（力とボディコントロール）の課題

観察される行動

ボールがうまく
投げられない・
動きがぎこちない

声がとても大きい
・ドアの開け閉めが
強すぎる

見立てられる内的課題

ボディイメージや
運動のコントロール
不足

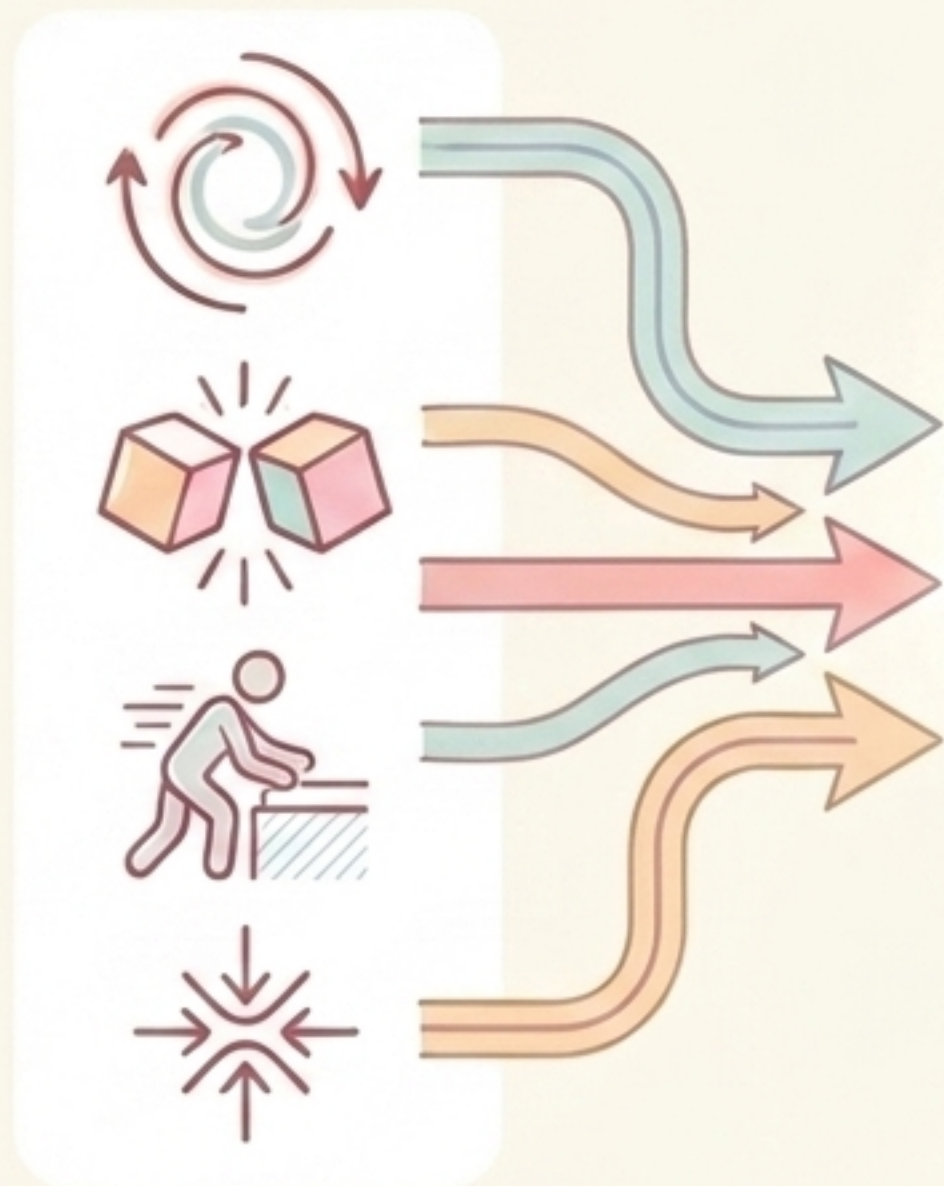
力加減の調整機能の
未発達

必要な感覚刺激

- ・体から圧が入る
- ・ぶつかる
- ・こすれる

適切な「感覚入力」が、自己コントロールの基盤を作る

感覚刺激



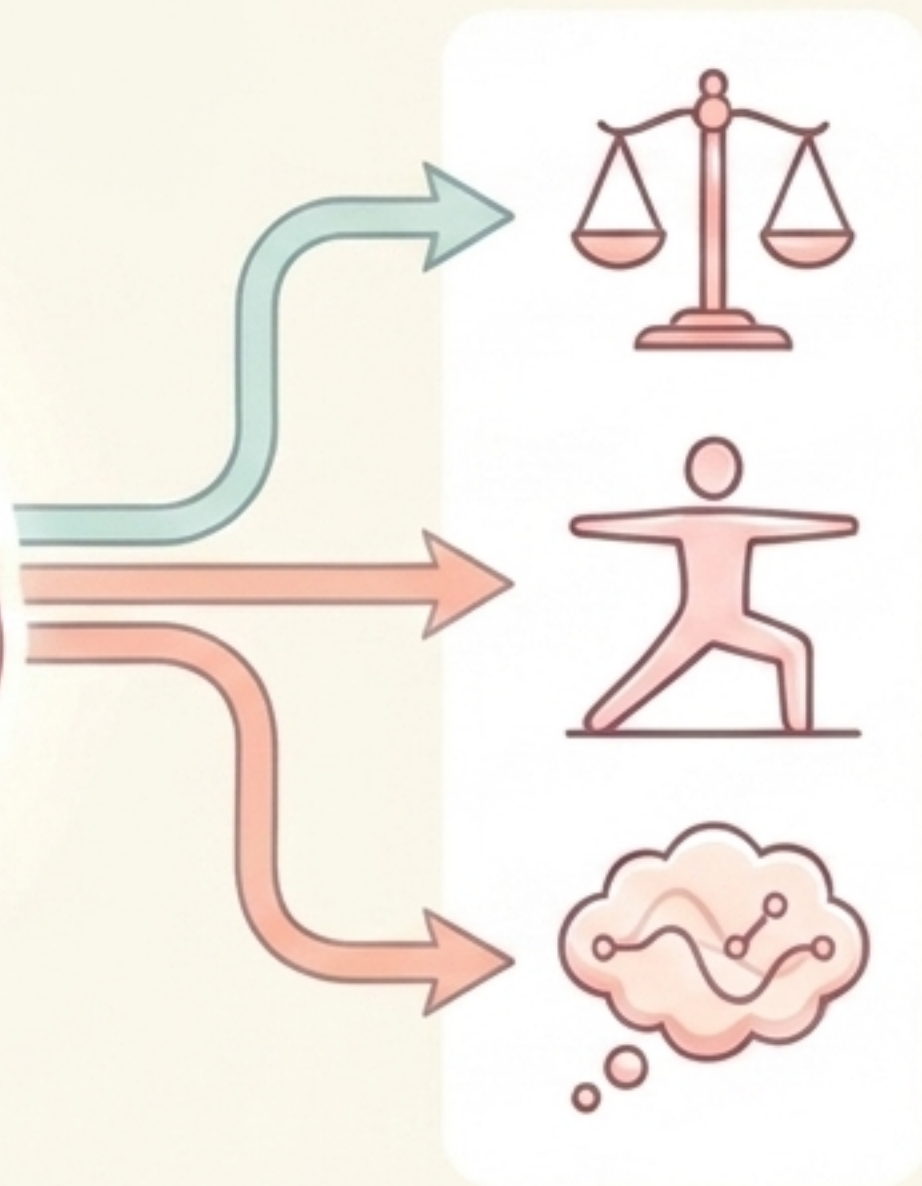
回転、衝突、摩擦、圧迫

感覚統合



不足していた感覚が満たされ、
神経系が整理される

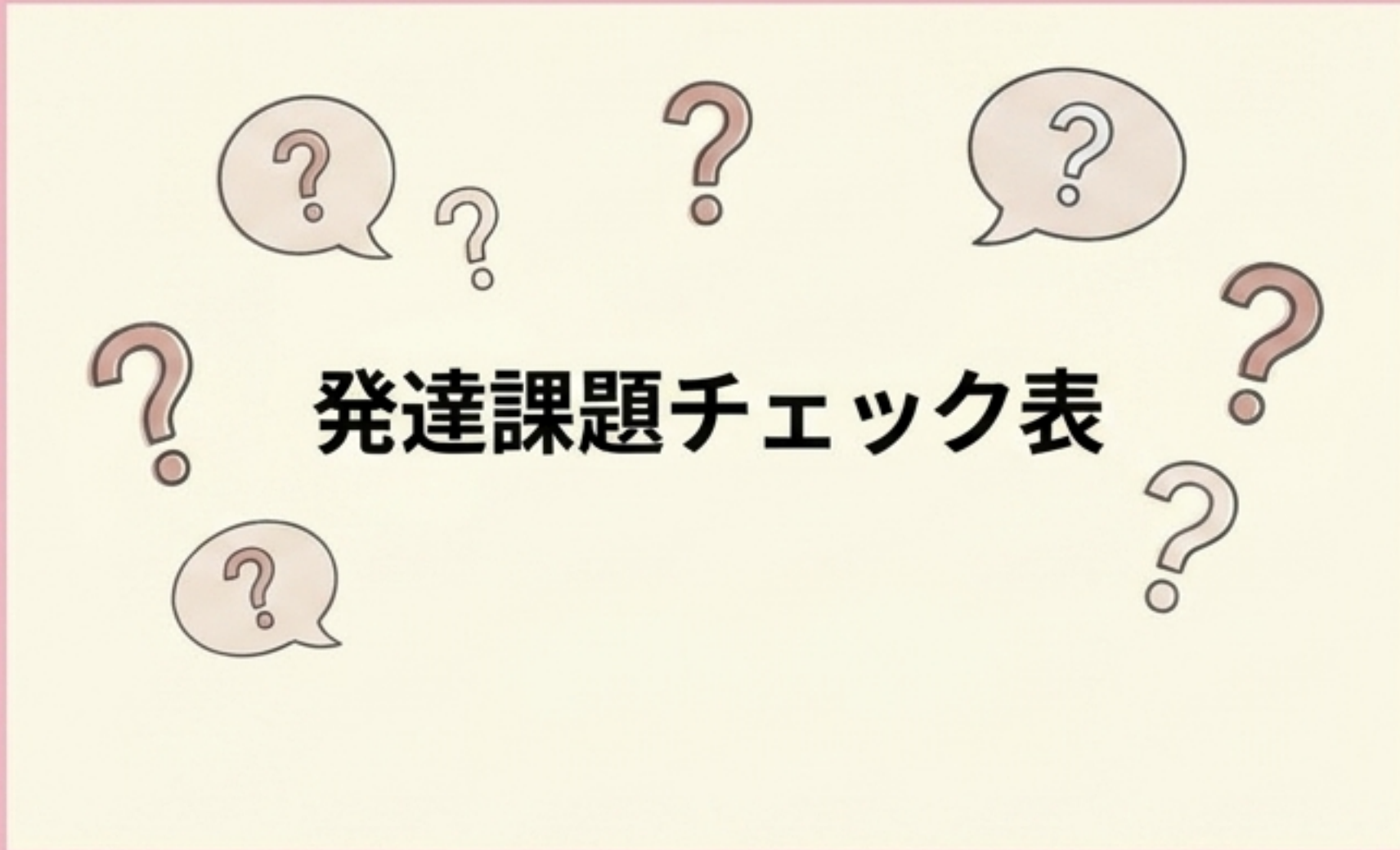
行動の変容



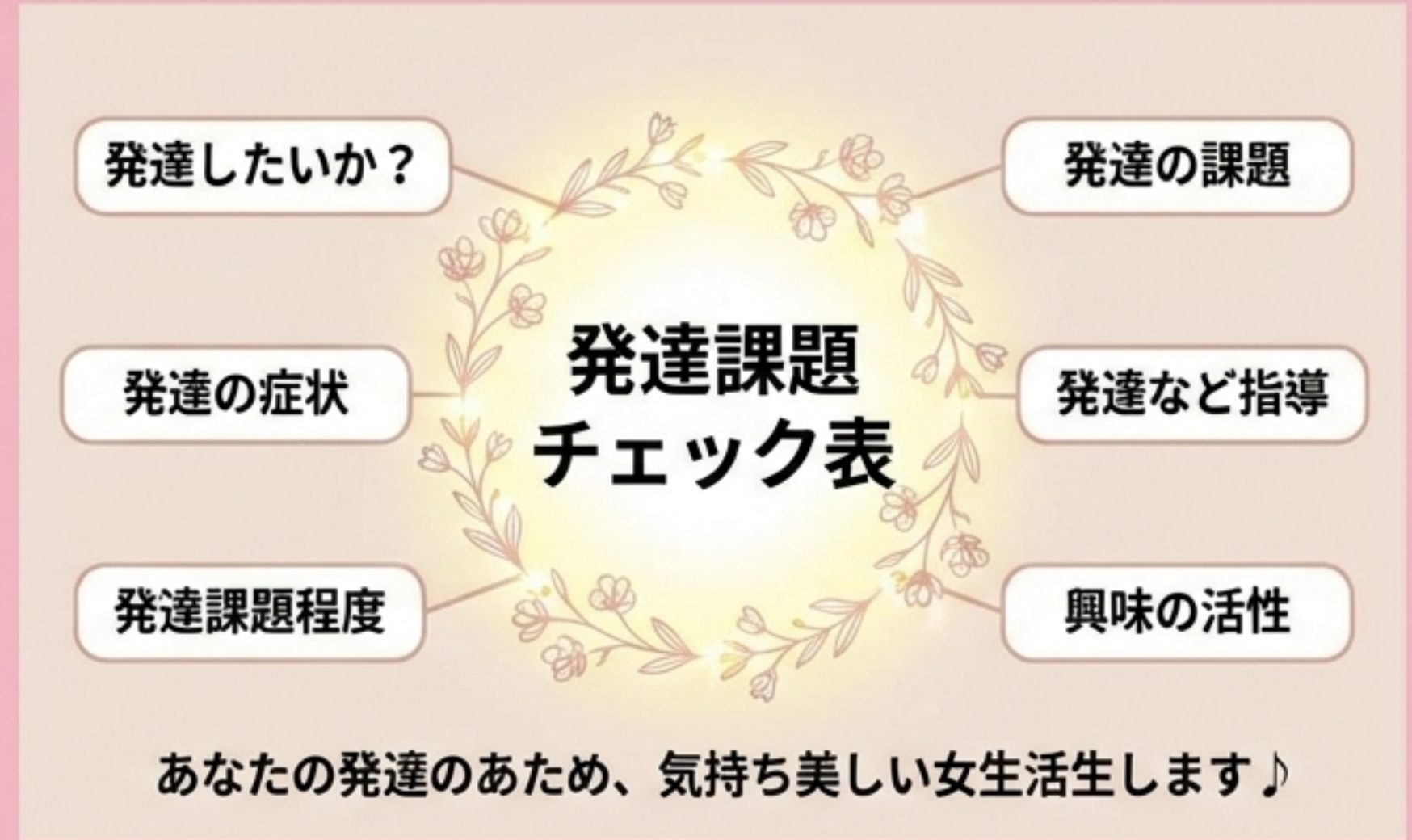
力加減の最適化、
姿勢の安定、柔軟な思考

Based on Slide C

Before



After



感覚統合 発達課題チェック表

児童名 ()

日付 . .

感覚名	場所	主な働き	感覚刺激	療育グッズ
【前庭覚】 モロー反射	・三半規管のすぐそば	<ul style="list-style-type: none"> ・左脳（こだわり）と右脳（妥協）を繋ぐ（衝動性） ・姿勢調整（重力対抗） ・バランス（軸） ・覚醒（ぼんやり→はっきり） ・眼球運動サポート（頭の位置の変化に対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ・回る ・揺れる ・飛ぶ ・走る ・上る下りる ・中心を意識する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンモック ☆ ・サイバーホイール ☆ ・ボルタリング ☆ ・バランスボール ☆ ・ロディー <p>など</p>
【固有受容覚】 恐怖麻痺反射	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚全体の下にある筋肉 ・体全体にある関節 	<ul style="list-style-type: none"> ・力加減 ・ボディーイメージ（筋肉の伸び縮み） ・運動をコントロール（関節を曲げ伸ばし） ・情緒安定 	<ul style="list-style-type: none"> ・圧が入る ・ぶつかる ・擦れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンモック ☆ ・バランスボール ☆ ・サイバーホイール ☆ ・ボールプール ・ロディー ・体育マット <p>など</p>
【触覚】 恐怖麻痺反射	・皮膚全体	<ul style="list-style-type: none"> ・防衛する（皮膚を通して危険察知） ・識別する（探索） ・ボディーイメージ（体の輪郭・大きさ・長さ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・圧が入る ・ぶつかる ・擦れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンモック ☆ ・バランスボール ☆ ・サイバーホイール ☆ ・ボールプール ☆ ・体育マット ☆ <p>など</p>
【視知覚】	<ul style="list-style-type: none"> ・目の六眼筋 上下 奥 手前 斜め上 斜め下 	<ul style="list-style-type: none"> ・枠をとらえる ・字の形をとらえる ・文字の前後をとらえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・目の微細な動き 	<ul style="list-style-type: none"> ・しゃぼん玉 ☆ ・風船 ☆